
妖怪の世界で

ゆうた

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妖怪の世界で

【Nコード】

N9054Y

【作者名】

ゆった

【あらすじ】

ロザバンの虹創作です

モノローグ

「うわあああああ」

キキイイイイイイイイイイ

ゴガアアアンという音を奏でて俺は宙へ舞った

2tトラックに撥ねられたんだ即死もんだ

（死後）

「うあ？」

「起きたかね？」

「お……おう　ここはどこだ？」

「此処はワシの存在意義（は）じゃ　深く考えんでもいいぞい」

「そですか　あなたは？」

「ワシはおぬし等が神と呼んでおる存在じゃ」

「神は実在するんだな？」

「そうじゃしそうでもない　お主等が呼んでおるからワシ等は神なんじゃ」

「そうか　俺はなんで神と面会してるんだ？　それは普通なのか？」

「普通ではない　お主はお主の生のあつたとき重大な功績を残しておる」

「？　もしかや小学校2年生で0点をとったことか！？　知ってんだな！？」

「ちがうちがう　お主がタイムマシンを発明したんじゃ」

「あーあれか　うんまあ　奇跡だよ」

「そこでじゃな　人間界でとてつもなく大きな功績を残した人物には転生することが出来るのじゃ」

「ふう〜ん」

「お主はする気はあるかの？」

「あるけど どうせ同じ世界じゃ面白くないや」

「例えは？」

「うーん 漫画の世界へ……は？」

「お安い御用じゃ」

「それじゃあ ロザバンの世界へ！」

「うむうむ その漫画はワシもよんどるぞ とても面白い」

ぶつとんだ神だった

「それで？ どんな妖怪がいいんじゃ？」

「うーん それじゃあ 何もないところから物を作る……創造者！」

「神に匹敵するの まあよい それじゃあ楽しんでくるんじゃよ」

ブワアアアアアアンと音がして地面が黄色く光りその中へ吸い込まれていった……

陽海学園（前書き）

二次創作と言ってもキャラ設定が同じでストーリーは同じで細部は全く異なるのでよろしくです

陽海学園

ガタンガタンとバスに揺られ俺は某陽海学園に向かうバスに乗っていた

「ここが……!」

「ひいひいひいひいひい こんな怖いところが学校!？」

「ああお前は来たことないんだったな」

「虚無さんは来たことあるんですか？」

「来た事はないけどどういいうところかはしってる」

「へえ」

「ヒヒ 到着だよ」

フシューとバスが空き二人を下ろした

こいつは青野月音 本当の主人公だ

俺はこいつにく虚無 創造>とかいう意味の分からない名前を教えといた

スタスタと歩いていると後ろから自転車の音が聞こえてきた

「!……………」

この展開は!!

ささっとその場をどき美しい少女と月音を衝突させた

「いたたた」

「すみません 少し貧血で……………」

(か……………かわいい!) って思ってるだろ台本どおりけば

月音が鼻血を出した

「あ……………血のおい……………我慢できない」

そうするとカプツつと月音の首筋を噛んだ

「いつてええええええええええ」

そうして出会いのシーンは終わった

俺は式もだるいのでブラブラと歩いているとチョーカーを着けて頭にもヘアバンドをしているおっさん発見 確かギン先輩だよな

「こんにちは カメラなんかもって何してるんです？」
「おお！？ ビックリした わいは式に出とる女の子の写真を撮り
ている所や」
「へへ 思いつ切り変体行為ですね？」
「……のめすぞ？」
「いいですよ？」
「お前先輩というのを馬鹿にしとるの」
「そんなことはないですよギン先輩」
「！ いつ名前教えたっけ？ あだなも」
「前世の記憶から あるいはその娯楽の一環から」
「おもしろいやっちゃな」
「ええ 俺もそう思います 新聞部に入るのでそのときはよろしく
お願いしますよ？」
「フン その時に決着付けたる」
そのままぶらぶらしているとみんなが体育館が何かから出てきた終わ
ったのかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9054y/>

妖怪の世界で

2011年11月27日01時50分発行